

ノートパソコンのスペック一覧表 (2024年度入学生向け)

	(1)推奨するスペック		医学部		工学部		農学部	海洋政策科学部	(2)最低限必要なスペック
	文学部、国際人間科学部(発達コミュニケーション学科を除く)、法学部、経済学部、経営学部、理学部、工学部(建築学科、機械工学科を除く)、農学部(食料環境システム学科生産環境工学コースを除く)	国際人間科学部 発達コミュニケーション学科	医学科	保健学科	建築学科	機械工学科	食料環境システム学科生産環境工学コース	海洋政策科学科	
①OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft社のWindows 11以上であること。</li> <li>Apple社のmacOS Ventura 13以上であること。</li> </ul>		Microsoft社のWindows 11 ※それ以外のOSの場合、講義等で対応できない場合がある		<ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft社のWindows 11以上であること。</li> <li>Apple社のmacOS Ventura 13以上であること。</li> </ul> ※建築学科としては、Windowsの搭載されたPCを推奨します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft社のWindows 11以上であること。</li> <li>Apple社のmacOS Ventura 13以上であること。</li> </ul>	(WindowsOSを推奨) ・Microsoft社のWindows 11以上であること。 ・Apple社のmacOS Ventura 13以上であること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft社のWindows 11以上であること。</li> <li>Apple社のmacOS Ventura 13以上であること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft社のWindows 11以上であること。</li> <li>Apple社のmacOS Ventura 13以上であること。</li> </ul>
②CPU	Intel Core i5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core i7以上が望ましい。 ※同等の性能のAMD RyzenやApple Siliconも可とする。	左記を参照下さい。 【注意事項】 ・CPUはシリーズ(Core i5、i7など)が同じでも世代が古いと性能が劣る場合があるので、できるだけ新しい製品を推奨する(特に中古では注意) ・Core iシリーズ(Core i5、i7など)のCPUは2023年後半からCore シリーズ(Core 5、7など)としてブランド名をリニューアルすると発表している	AMD社製5000番台Ryzen 5相当以上、またはIntel社製第11世代Core i5相当以上、またはIntel社製第12世代Core i3相当以上		Intel Core i5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core i7以上が望ましい。 ※同等の性能のAMD RyzenやApple Siliconも可とする。		Windows 11以上または macOS Ventura 13以上が動作するCPUであること。 ※同等性能のAMD RyzenやApple Siliconも可とする。		
③メモリ容量	8GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには16GB(ギガバイト)以上が望ましい。		8GB(ギガバイト)以上		8GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには16GB(ギガバイト)以上が望ましい。		8GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。		
④HDD、SSD	SSDで、256GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには512GB(ギガバイト)以上が望ましい。		SSD、256GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。		SSDで、256GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには512GB(ギガバイト)以上が望ましい。		HDD、SSDのいずれかで128GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。		
⑤無線LAN	IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6 または6E)に対応していること。 (IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax)などアルファベットの添字部分にaxが含まれている場合はこれに該当します)		IEEE 802.11 a/b/g/n/ac に対応していること。		IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6 または6E)に対応していること。(IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax)などアルファベットの添字部分にaxが含まれている場合はこれに該当します)		IEEE 802.11ac (Wi-Fi 5) または IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6) のいずれかに対応していること。(IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax)などアルファベットの添字部分にacかaxが含まれている場合はこれに該当します)		
⑥バッテリー駆動時間	8時間程度以上であること。		8時間程度以上であること。 ※第12世代Core i7は電力効率が悪い場合があるので要注意		8時間程度以上であること。		8時間程度以上であること		
⑦その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>イヤホン・マイク・カメラが利用できること。</li> <li>USB2.0、3.0、3.1、3.2、4のいずれかが利用できること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イヤホン・マイク・カメラが利用できること。</li> <li>USB2.0、3.0、3.1、3.2、4のいずれかが利用できること。</li> <li>HDMIの直接接続もしくはUSB Type-CによるHDMI接続が可能であること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面解像度1,920×1,080以上が望ましい</li> <li>イヤホンが利用できること。(Type-Cアダプタ経由可)</li> <li>マイク、カメラが利用できること。(必ずしも内蔵でなくても良い)</li> <li>USB3.0以上のType-Cが利用できること。</li> <li>* 教室内での安定稼働を考えると、有線イヤホンジャックを有することが望ましい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面解像度1,920×1,080以上</li> <li>イヤホンが利用できること。</li> <li>マイク、カメラが利用できること。(必ずしも内蔵でなくても良い)</li> <li>USB3.0以上のType-Cが利用できること。</li> <li>* 教室内での安定稼働を考えると、有線イヤホンジャックを有することが望ましい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イヤホン・マイク・カメラが利用できること。</li> <li>USB2.0、3.0、3.1、3.2、4のいずれかが利用できること。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>イヤホン・マイク・カメラが利用できること。</li> <li>USB2.0、3.0、3.1、3.2、4のいずれかが利用できること。</li> </ul>		
⑧ネットワークについて	遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一回の授業で500MB(メガバイト)~1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いわゆるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。		遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一回の授業で500MB(メガバイト)~1GB(ギガバイト)以上の通信量が必要な場合があります。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いわゆるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしは必要なプランへの変更が容易な契約をお勧めします。		遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一回の授業で500MB(メガバイト)~1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いわゆるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。		遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一回の授業で500MB(メガバイト)~1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いわゆるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。		
⑨備考	以上是新規にノートパソコンを購入するなどして、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。		以上是新規にノートパソコンを購入するなどして、4年間以上同じノートパソコンを一般的に使用する場合は、旧型のパソコンでは動作が遅くなる場合がありますが利用できないわけではありません。但し、サポート切れのOSは使用してはいけません。 * Microsoft社製Officeについては全学ライセンスが利用できるため必ずしもプレインストールが必要ではありません。	以上是新規にノートパソコンを購入するなどして、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。旧型のパソコンでは動作が遅くなる場合がありますが利用できないわけではありません。但し、サポート切れのOS (Windows10は2025年10月終了予定)は使用してはいけません。 * Microsoft社製Officeについては全学ライセンスが利用できるため必ずしもプレインストールが必要ではありません。	以上是新規にノートパソコンを購入するなどして、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。 ※① OSに関して、Microsoft社のWindowsの場合、3次元モデリングソフトウェア(SolidWorks)を学内で使用することができます(LAN接続時)。ただし、自習のためのサービスであり、Apple社のmacOSの場合に授業で不利になることはありません。	以上是新規にノートパソコンを購入するなどして、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。	以上是新規にノートパソコンを購入するなどして、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。 ・①で定めたOS以外のノートパソコンは、授業に支障が出るため、利用できません。	以上はすでに所有しているノートパソコンを利用する場合の最低限の条件です。4年間以上同じノートパソコンを利用したい場合などは、推奨するスペックを参考にしてください。	

※Core iシリーズ(Core i5、i7など)のCPUは2023年後半からCore シリーズ(Core 5、7など)としてブランド名をリニューアルすると発表している

①OS

- Windows 10の場合、無償でWindows 11にアップグレードできます。
- 新たに購入する際、Windows10を選択する場合は、将来的なバージョンアップを見越して、Windows11が動作可能なスペックであることが望ましいです。
- サポート期限の切れているOSを、大学で利用してはいけません。Windowsのサポート期限についてはMicrosoftのWebページを参照してください。macOSについては、最新のものより2つ前までが通常サポートされています。
- Windows8.1以前のOSはサポート期限が切れていますので大学に持参しないでください。各自でWindows10以上にアップグレードしてから大学に持参してください。
- Windows Update あるいはmacOSのアップデートにより、常に最新の状態にアップデートしてください。

③メモリ容量

- Gはギガを指します。
- 複数のアプリを同時利用したり、プログラミングを行ったりするなら8Gバイト程度が必要になります。

④HDD、SSD

- HDDよりもSSDやeMMCのほうが振動に強くなります。また、SSDは他よりも起動速度が速くなります。
- 必要な容量は各自の利用の仕方によります。例えば、自分のスマートフォンのバックアップを取りたいなら、その分の容量が余分に必要です。

⑤無線LAN

- IEEE 802.11 b/g あるいは IEEE 802.11 b/g/n 対応の機器の場合は、授業中などの混雑時に繋がりにくくなる可能性があり、全体の速度にも影響がでます。この場合、IEEE 802.11 a/n 対応のUSB 無線LAN を購入して利用してください。

⑥バッテリー

- 大学には充電する設備はありません。大学で利用する時間を考慮して、必要なバッテリー容量を選択しましょう。
- 新規にノートパソコンを購入する場合はカタログ値を参考にしてください。
- バッテリーは消耗品です。すぐにバッテリー切れが起こるなどの場合は、バッテリーを交換しておきましょう。

⑦ソフトウェア

- 以下のソフトウェアのインストール方法についてはマニュアルを準備しています。入学前にインストールしておく必要はありません。Thunderbird、Adobe Acrobat Reader DC、Microsoft 365※
- Microsoft 365※は、入学後、無償でダウンロードできます。
- ※在学中は、Officeを無料でご利用いただけます。(卒業後のご利用はできません)
- (セキュリティ対策ソフト)
- Windows 10、11の場合、付属しているWindows Defenderを利用できます。
- MacAfee(MacOS)を入学後、無償でダウンロードできる予定です。

⑨備考

- ノートパソコンが必要な授業について、ノートパソコンを持参し利用することは、学生各自の責任です。ノートパソコンが利用可能な状態を維持しましょう。
- ノートパソコンは高価です。新規購入する場合は、自分で良く調べて慎重に選択しましょう。
- Surface等の一部のWindows端末では、工場出荷時にSモードという設定が有効化されており、この場合、Microsoft から認証されたソフトウェアしかインストールすることができません。Sモードには様々なメリット・デメリットがあり、解除することもできますが、一度解除すると再度Sモードに戻すことはできません。
- 遠距離から通学する場合などは、ノートパソコンの軽さも重要になります。携帯性と頑強性のバランスを考えて選択しましょう。
- ノートパソコンは精密機器です。できるだけ振動などを与えないように気をつけましょう。ノートパソコン用のバックなどを活用しましょう。
- メーカーあるいは販売店の保証が有効かどうかなど、故障した場合にどうすれば良いかを確認しておきましょう。
- 通常の場合、水没や落下などによる故障は保証の範囲外です。販売店で保証内容についても良く確認しましょう。
- 有料になりますが、動産保険などに入ることも検討しましょう。
- メーカーや製品によっては初期故障が多いなどの場合があります。新規購入の場合は、機種選択について販売店で相談するのも良いでしょう。